

山形県感染症発生動向調査 週報

2025年 第21週
(2025年5月19日～2025年5月25日) 2025年5月28日 発行

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
TEL.023-627-1109

<定点把握感染症>

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

点 種 別	感 染 症	全 国	山 形 県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
		第20週	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第1～21週
感 染 性 呼 吸 器	内科・小児科 (定点医療機関数)		(39)			(7)			(10)			(4)			(6)			(12)			
	インフルエンザ	2910	50	28	▽	4	7	▲	15	6	▽	1	3	Δ	5	2	▽	25	10	▽	6445
	新型コロナウイルス 感染症(COVID-19)	3694	55	33	▼	7	7		14	6	▼	4	5	Δ	22	8	▽	8	7	▼	2989
小 児 科 定 点	(定点医療機関数)		(26)			(6)			(7)			(3)			(3)			(7)			
	RSウイルス感染症	726	16	19	Δ	2	11	▲	4	2	▼	3	1	▽	3	3		4	2	▽	394
	咽頭結膜熱	1272	16	13	▽	4	3	▽	3	1	▽	2		▽	7	9	▲				218
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	7520	83	60	▽	19	18	▽	10	8	▽	3	1	▽	46	30	▽	5	3	▼	1425
	感染性胃腸炎	18117	173	130	▽	29	18	▽	87	53	▽	15	11	▽	20	31	Δ	22	17	▽	3050
	水痘	1275	17	31	Δ	7	12	Δ	5	8	▲	1	5	Δ	1	5	Δ	3	1	▽	251
	手足口病	305	4	5	▲				4	1	▽		4	Δ							183
	伝染性紅斑	4834	163	124	▽	32	25	▽	88	70	▽	2		▽	13	14	▲	28	15	▽	1094
	突発性発しん	868	17	12	▽	4	2	▽	3		▽	4		▽	3	8	Δ	3	2	▽	161
	ヘルパンギーナ	129		1	Δ					1	Δ										11
	流行性耳下腺炎	196																			22
眼 科 定 点	(定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
	急性出血性結膜炎	41																			0
	流行性角結膜炎	632																			103
基 幹 定 点	(定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	110	3	1	▽	3	1	▽													28
	クラミジア肺炎	4																			0
	マイコプラズマ肺炎	157	1	2	Δ										1		Δ	1	1		106
	細菌性髄膜炎	11																			2
	無菌性髄膜炎	13																			1

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、Δ:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<通 信 欄>

〇トピックスでは、注意報レベル(参考値)となった「水痘」について掲載しています。

〇インフルエンザ情報
第21週における県内のインフルエンザに関する情報は以下のとおりです。
・迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数
A型:14件、B型:12件 (定点医療機関からの報告)
・インフルエンザウイルス検出状況(衛生研究所 2024.9.2～2025.5.20)
今シーズン(2024年36週～)の患者から、
AH1pdm09が211件、AH3が12件、B型が13件検出されています。

警報・注意報の基準(参考値)

感 染 症	警報レベル		注意報 レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、
警報・注意報の基準については参考値として取り扱います。

・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

種 定 別 点	感 染 症	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合 計
急性呼吸器感染症定点	内科・小児科	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	28
	インフルエンザ	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～			3		3	13	2		
		1	2	1												
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	33
			3	1			1		2		1		5	1		
		6	2	3	4	3	1									
小児科定点		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	
	RSウイルス感染症	1	6	9	2	1										19
	咽頭結膜熱		2	8		1	1					1				13
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	5	10	2	11	5	5	1	9	6		3	60
	感染性胃腸炎	1	10	28	11	11	11	8	11	10	6	7	13		3	130
	水痘			1				1	2	4	7	3	12		1	31
	手足口病				3	1	1									5
	伝染性紅斑		1	4	8	12	21	17	14	10	25	6	6			124
	突発性発しん			7				2		1		2				12
	ヘルパンギーナ											1				1
	流行性耳下腺炎															0

< 全数把握感染症 >

感 染 症	報 告 数					備 考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核					1	
腸管出血性大腸菌感染症	1					型別:O91 VT1
侵襲性肺炎球菌感染症				1		ワクチン接種歴:不明
梅毒		1		1		第20週追加報告(1)
百日咳	27	7		7	1	第20週追加報告(8) ワクチン接種歴:4回(28)、3回(1)、不明(13)

<トピックス>

水痘が注意報レベル(参考値)を上回りました

第21週における水痘の県定点当たり報告数は1.19人で、注意報レベル基準値(参考値)を上回りました。保健所別では庄内以外の4保健所で前週よりも定点当たり報告数が増加しました。山形市保健所では警報レベル、村山・最上・置賜保健所では注意報レベルとなっています。2025年に入り増加傾向がみられていますので注意しましょう。

図1 山形県・全国定点当たり報告数 (2021年～2025年第21週現在)

図2 保健所別定点当たり報告数 (2025年)

図3 年齢別報告数 (第21週)

【水痘について】

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる感染症です。空気感染、飛沫感染、接触感染により広がり、潜伏期間は2週間程度とされています。発疹を発現する前から発熱が認められ、典型的な症例では、発疹は紅斑(皮膚の表面が赤くなること)から始まり、水疱、膿疱(粘度のある液体が含まれる水疱)を経て痂皮化(かひか:かさぶたになること)して治癒するとされています。

水痘は9歳以下での発症が90%以上を占めるとされています。成人で水痘を発症した場合、重症化するリスクが高いとされています。

〈予防について〉

水痘ワクチン1回の接種により重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症の水痘も含めてその発症を予防できると考えられています。

感染力が強く、家庭内接触での発症率は90%と報告されています。罹患者との接触を控えるようにしましょう。

【急性呼吸器感染症サーベイランス(症候群サーベイランス)】

< 定点把握感染症 >

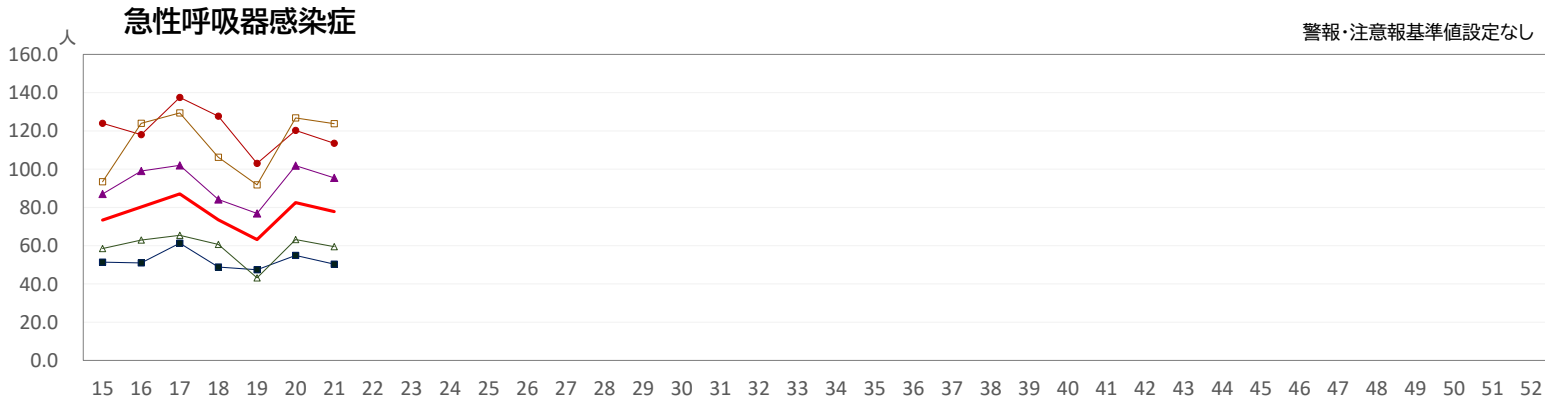
感 染 症	全国	山 形 県				山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
	第20週	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第15～21週	
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科 (定点医療機関数)		(38)				(7)			(10)			(4)			(5)			(12)			
急性呼吸器感染症	231866	3135	2958	▽	713	668	▽	549	503	▽	481	454	▽	634	619	▽	758	714	▽	20360	
	60.26	82.50	77.84		101.86	95.43		54.90	50.30		120.25	113.50		126.80	123.80		63.17	59.50			

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

感 染 症	山 形 県												
	第21週												
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
急性呼吸器感染症	254	1221	653	343	71	50	94	64	43	68	44	53	2958

< 定点当たり報告数グラフ >



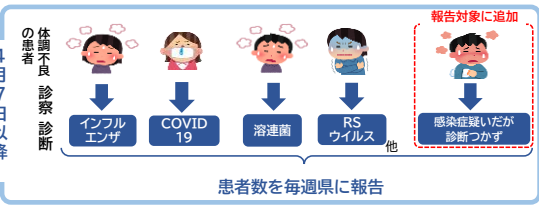
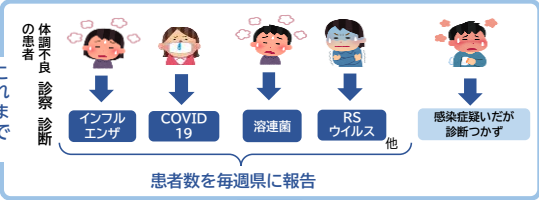
急性呼吸器感染症(ARI)
サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始められました。

ARIサーベイランスは、**症例定義※**に一致する患者数の発生を把握する**症候群サーベイランス**です。

※咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「(診断名のつかない)急性呼吸器感染症」となります。



詳しくは
厚生労働省HPへ ▶▶

